

平成5年11月1日発行

NO77



〒869-12 熊本県菊池郡大津町森54-2 ☎096-293-8100  
社会福祉法人 三気の会 三気の里

本

理事長 田中 稔

読書の秋到来です。学生の頃から、街に出て時間にゆとりのある時は本屋を覗く事が習慣の様になっています。特定の分野にこだわらず、本屋の中をグルグル廻っていると本の方から呼びかけてくれる様な気がします。そうして出会った本を並べてみますと、私自身を解説してくれる事にもなっています。不思議と節目節目で大切にしている本との出会いがありました。今年も色々な本と出会いました。いくつか紹介しますと

「自閉を越えて 上下」石井聖著、実践者が現場から書いた骨太の本です。  
この本との関連で「脳の話」

- 「人間である事」時実利彦著
- 「脳と心」平井富雄著
- 「乳幼児の世界」野村庄吾著
- 「子供と言葉」岡本夏木著
- 「子供の心と発達」園原太郎著
- 「無意識の構造」河合隼雄著を読み直してみました。
- 「子供は手で考える」一色八郎著
- 早期療育を手の働きを通して行うヒントがあります。
- 「脳ってすごい」水谷弘訳、欧米

の人の書いた本ってどうしてこんなにシンプルで分かりやすく書かれているのでしょうか。本当に分かってからシンプルに書けるのでしょうか。

「深い河」遠藤周作著、インドを舞台にしているところがおもしろいと思います。

「ロンドンの小さな旅」出口保夫著、旅に関する本も多く読んでいるのですが、この本はイラストが素晴らしく著者の御息が描かれたとの事。羨ましいです。

「蝉しぐれ」藤沢周平著、藤沢さんの一連の本には温かさがあります。

「運を育てる」米長邦雄著、小さいながら事業を起こし背負ってきた者として将棋という勝負の世界にいる人が書いた物ですがうなずかされる事がありました。私自身は、事が成るかどうかは想いを持ち続けられるかどうかだと思っています。

- 「黄金を抱いてとべ」高村薫著、高村さんの推理サスペンスの本はそのスケールの大きさと取材力でとても女性が書けるとは思えません。そのすごさが許せません。
- 「チベット死者の書」NHK出版、

この本に出てる(科学の知)と(神話の知)という言葉は「臨床の知とは何か」中村雄二郎著の中で中村さんが言っている(臨床の知)という言葉と同じ物と思えます。二十世紀末になっていろんな分野でこういう考え方が言われ始めている事が注目されます。

「創造と伝統」川喜田二郎著、k1法で知られている川喜田さんの遺書的メッセージでしょう。  
「雨の日には」相田みつお著、何の説明も要りません。ただスウィーと読めばわかります。

雑学的な本の読み方です。これからもどんな本に出会えるか楽しみです。



計報

下出益雄氏(社会福祉法人 三気の会 監事)10月25日御逝去なされました。法人の運営に御尽力、御指導頂きましたことに、感謝を申し上げる次第です。  
御冥福をお祈り致します。  
事務長 末永

療育シリーズ

自覚

園長 土井 尚典

ゆうあいピックの準備の真最中に計報がはいった。園生のお兄さんがなくなつたという知らせだつた。園生の自宅へ職員が連れていった。本人は言葉も話せるし、聞き分けもいいし、しっかりした園生なのでお通夜と葬儀には出席できると思っていた。ところが、お母さんが親せきの方やお客さんがたくさん来るので連れて帰ってくれとのことで指導員はいったん連れて帰ってきた。

園生は今年47才である。お父さんはお医者さんであったが既に亡くなつていられる。お兄さんが父親がわりで、園生の送り迎えをされていた。お母さんは高齢であるがご健在である。三気の里の保護者会にも出席され、また手縫いの雑巾を度々持って来られる。お通夜の席と一緒に連れていった。焼香が済むといつたん退席したが、ところが納得しない。お母さんは高齢であり、お兄さんのお嫁さんも夫を亡くして大変な時であるが、園生が葬儀に参列できないの

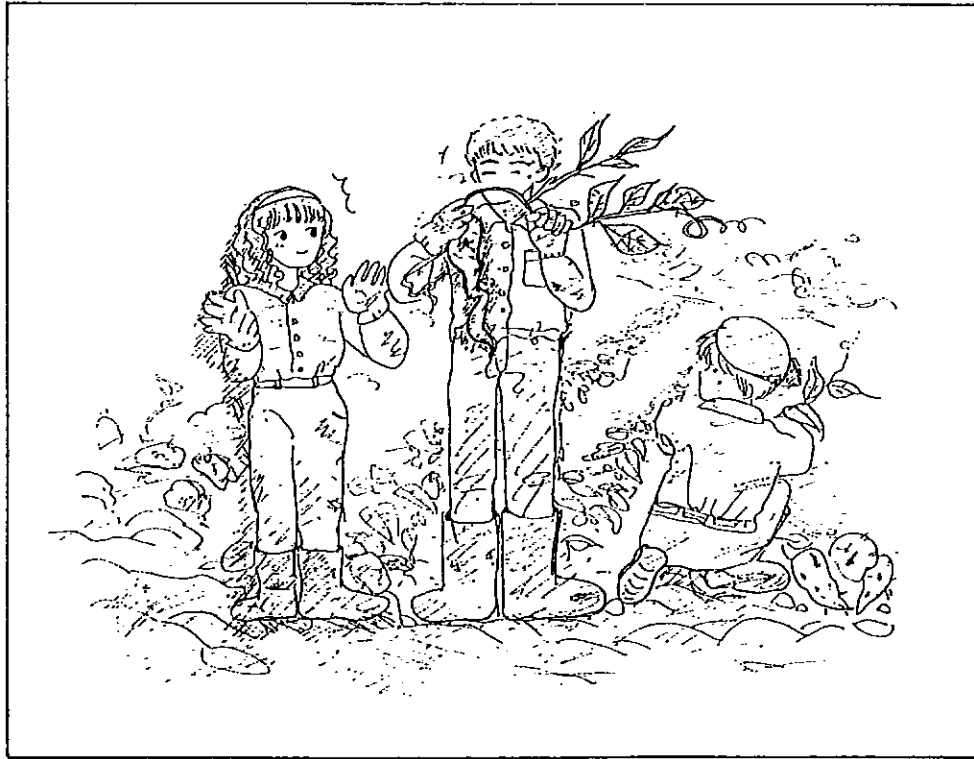
が納得できない。お通夜には無理に連れていったけど、親せきの方や皆さんは親切であった。帰園後、本人の弟さんに電話をして野辺のおくりと葬儀に参列させていただけないかとお願いをしてみた。「いいと思います。」とのご返事だった。意を強くして翌日朝早く連れていった。

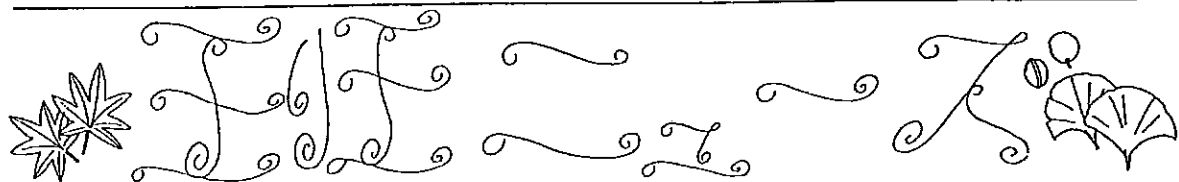
お母さんと弟さんとに時間をいただき、本人は立派に葬儀に参列して勤まること、これから先も自立して行かなければならぬ事を自覚しなければならぬことや参列の意義をお話した。快く引き受けていただいた。そして本人をお願いで退席した。葬儀のとき、親族の席に座り、最後まで立派に勤め上げた。翌日帰園した時にわたしはいなかったが、事務職員にわたしが貸してあげた数珠を「園長先生にありがとうございまして」といつて返してください。」といったそうだ。「今までではとても考えられない。」「びっくりするほどしっかりして帰ってきた。」と事務職員と担当指導員が話してくれた。

50才近くになったわたしでも時折死んだ親父を思い出します。障

害者と家族のきずなはもつと強いものです。園生のころの中はどんなでしょう。でも越えて行かぬ

はなりません。わたしたちもしっかり支えなくてはと思います。





## 1 班

## 天高く --- 秋

天高く馬肥ゆる秋、肥えているのは…。さておいて、秋桜（コスモス）狩りに行こうと、宮崎は生駒高原に出かけました。

花よりダンゴの我ら、職員の要望で、山菜おこわを作ってもらい、心うきうきでかけました。途中道案内の事が話題になり、方向オンチの女子職員で、素直に行けた試しはないと盛り上がりました。ところが、今回案内のTANABEさん、毎年行ったとの経験を信じ安心していただけるところ、何処を曲がるのか分からず、イヤな予感が胸中をよぎった。「しまった！」前回忍者村では下見に来て、道に迷った、本人だったではないか。教訓、「地図は必ず用意しよう！」。おかげ様で、我々は、先のえびの高原・韓国岳（からくにだけ）も見ることが出来ました。ワーイー！

生駒高原のコスモス畑で、たわむれる園生みんなの姿は、びったりだったり、少々？もあったりで楽しい散策をすることができました。

帰り路、少々遠回り(?)したなんて内緒ですよ。

坂井

## 2 班

## 味覚の秋

あいにくの雨で、最初の予定だった矢谷溪谷でのバーベキューができず、三気の里の作業棟内ですることになった。

机、イス等を脇にどかし、水色のシートを敷く。中央にグリル、その回りをスノコを敷き詰める。最後に丸太を輪切り椅子を、シートの回りに並べて、何とも素晴らしい山小屋風の上に仕上がった。作業棟に入って来た職員が、「へえ、これがいつもの作業棟にはみえないね！」「だろ！」と、中央に陣を取っていた田之上指導員が、得意げに答えた。

さて、準備は全て整ったものの、困ったことに昼食迄には後1時間30分もあった。「どうしようか。」そんな声の中、仕方なしに私がオカリナを取り出して吹き始めるが、しかし興がのらなくてすぐに止めてしまった。(下手でご免なさい！)「どうしよう、あと1時間もある。」「そうだ、おやつを食べよう。」それは名案と手をひとつ打って「10時のおやつ」なるものを食べ始める(が、しかしすぐに終わる。)  
「ま、いっか。」誰かがいった。その日の昼食はとても早く終わってしまった…。(でもバーベキューおいしかったです。)昼からは、ドライブに出た小園方面に向けてバスを走らせたが霧がとても深くさまようように阿蘇の路を行き、そしてとうとうたどりつけなかった。坂本

## 3 班

## “おいしい秋見つけた”

待ちに待ったさつま芋の収穫がやって来た。近くの農家の人達の話によると「今年は入りが良くない。夏の長雨で、芋が太らず細長いばかりだから、早く掘り上げてしまった方が良い。」という事だった。しかしである、あきらめ半分でツルを引いてみると、何と大きくてきれいな赤紫色の芋が一杯ツルに付いて上がってくる。皆の顔が(特に私)ニヤリとニヤケていた。今年、特に期待が大きかった“まほろしの芋”もまほろしに終わらず、味も最高だった。木下指導員が写真にまで収めた、長さ50cmの芋は山芋そっくりのさつま芋で泰成君が根性で掘り出したもの。(これはまだ食べていないので、是非一見を!!)

他にも、ヨーグルトやアイスにかけて食べると美味しい「ブルーベリージャム」やドクダミ、ヨモギ等の野草をブレンドした『オリジナルブレンドティー』も園芸班の今秋のヒット商品であった。

おいしい秋が終わっても、皆さん又頑張ろう！

木牟田



# ゆりあらいピック



## Part. I

中牟田真奈美

先日、水前寺陸上競技場を中心に「第2回ゆうあいピック全国大会」が開催されました。三気の里からは残念ながら選手の出場はありませんでしたが、開会式のマスマスゲーム(集団演技)にさゆりちゃん、由美ちゃん、山中指導員が團の代表として出場しました。今年の6月、初めて集団演技の練習が熊本商科大学の体育館で行われました。振り付けの先生が東京より来られており、厳しい雰囲気と難しい振り付けを目の当たりにした時には思わず「大丈夫かなー。」と頭をひねったものでした。

その後、私自身も何度と一緒に練習に行っていました。途中から踊れなくなったのは残念でしたが引率として一緒に行ったことは私にとってもよい思い出となりました。時には夕方日の沈む頃までの練習だったり、何度も何度もやり直したりとあの大人数がきれいにそろう為にはかなりハードな練習を行ってききました。当日「木」をイメージしたグリーンの衣装を身をまとい全身一杯で表現した皆の演技は観衆に歓声を上げさせていました。さゆりちゃん、由美ちゃん、頑張ったね。本当にお疲れ様でした。

## Part. II

山中 美津代



私は、10月16日と17日に行われた「ゆうあいピック」に参加しました。係としては、集団演技・式典及び競技の誘導を行いました。集団演技では、一緒に参加した由美ちゃん、さゆりちゃんが頑張って踊りを覚え、大勢の来客の前に(少々緊張した趣でしたが。)上手に踊る事が出来、感激しました。競技では、陸上・フライングディスク・ボーリング・サッカー・バレーボール、その他様々な個人・団体競技が各施設において、熱戦が繰り広げられました。そんな中、私は、陸上競技での誘導の係をしました。全国各地から集まって来た人達の顔は真剣そのもの。スタートにいたせいで「ドキドキする。びりになったらどうしよう。」

選手同志での会話もちらほら聞こえ、緊張感がひしひしと伝わってきました。皆の頑張っている姿には感動しました。三気の里からの競技参加がなかったのは残念でしたが、今回、選手・関係スタッフ・ボランティアの方々との出会えた事が大きな喜びでした。御疲れ様でした。

## 第3回運動大会

田邊 剛政

9月26日(日)第3回三気の里運動会が秋晴れの下三気の里グラウンドで行われました。30m徒競走に始まり、大玉転がし、むかで競

争、障害物競争、園生リレー、玉入れ等に皆が持っている力を存分に発揮していたと思います。今回は、職員やボランティアは裏方に力を入れ、競技は園生が自分の力で参加し競技することを目標に、プログラムは簡単に競技内容も解り易く作成しました。そのせいか進行が予定した時間よりも大幅に早く、時間が余ってしまったので、保護者とボランティアの二競技を追加することになりました。思いがけず参加させられた保護者やボランティアの皆さんも楽しく競技をされていたようでした。今回で3回目ということもあり、園生一人一人がそれぞれの競技を理解し楽しんでいたのでないでしょうか。毎日の指導の中ではなかなか見えない成長が年に一回の催し物によって目を見張るような成長を

していたりして頼もしく思えたりもします。最後になりましたが裏方で頑張ってくれたボランティアの皆さん、またお子さん方に負けじと競技して頂いた保護者の皆さんお疲れ様でした。そして有り難うございました。



### 入園に際して

有屋田 よしえ  
 入所に当たっては、いろんな思  
 いの中で、論の行く末、今何が子  
 供にとって必要なか話し合い、  
 決心しました。

今までのんびり過ごした日々か  
 ら三気の里での生活、不安と戸惑  
 いで体調を崩しているのではない  
 だろうか？環境に慣れるまで人一  
 倍時間がかかるのではと案じてい  
 ます。

異変が起きて約二年、本人の苦  
 しみはもちろんのこと、わが家の  
 生活サイクルが一転して大変だっ  
 た日々が思い起こされます。学校  
 の諸先生方・仲間・子供達との出  
 会い、触れ合いの中で幾度も励ま  
 され今日まで子供と共に歩んで来  
 ました。  
 我が子のために、健康に留意し  
 ともに苦しみを分かち合い頑張っ  
 て行きたいと思えます。



### さよなら、り路子子さん

開所からこれまで、六年半三気  
 の里と一緒に過ごしてきた路子さ  
 んが、退所されることになりました  
 た。手先が器用で、作業ではネッ  
 トの袋詰めをとってもよくがんばっ  
 てくれました。折り紙が好きで、  
 オルガンが上手で、笑顔の素敵な  
 路子さん。いつまでも元気でかわ  
 いい人でいてくださいね。



黒澤

### 食食堂営営菜中

いよいよ冬に入り、私達、厨房  
 の方では、暖かいものや、野菜を  
 たっぶり使い、新メニューを増や  
 し、寒さの中でも、美味しくくて楽  
 しい食事を目標とてがんばって  
 ます。

### 栄養について

村上

野菜は毎日300gこんな風に  
 食べる！

野菜は、毎日300g、できれ  
 ば、毎食100gが、目標です。  
 そして、緑黄色野菜を100g以  
 上とるようにしましょう。緑黄色

野菜は、カロチン(体内でビタミ  
 ンAになる。)ビタミンCや鉄を  
 多く含むほうれん草、小松菜など  
 の葉物類と、カロチンと糖質が多  
 い、南瓜(カボチャ)、人参など  
 があります。緑黄色野菜の鉄の場  
 合吸収率がよくないので、たんぱ  
 く質といっしょに摂取して吸収を  
 よくする。またカロチンは、油脂  
 とともに料理すると、吸収率が上  
 昇するので、適量の油を使った料  
 理をすると良いでしょう。目標を  
 クリアするための工夫として、汁  
 物の中に、たっぶり入れたり、加  
 熱してかさを小さくしたり、冷凍  
 保存などして野菜をさらさないよ  
 うにするといいと思います。



### スポーツ

### スリースポーツ

坂井 省英

今年度より、始まった金曜日の  
 運動は、体力の維持、増進を目標  
 に種々な、スポーツをとり入れよ  
 うと企画されて来た。10・11月の  
 運動は、山登りを企画した。

4グループに分かれ、それぞれ  
 の体力に応じた山登りを計画した。

天候次第で計画が中止となってし  
 まう運動ではあるが、毎週散歩(か  
 なりハードで散歩とよべるかどうか。)をやって基礎作りをしてい  
 る彼らの健脚を発揮するまたとな  
 いチャンスで担当者は晴天を願っ  
 ている。

Aグループは22日久住山に、D  
 グループは15日竜田山に登ること  
 が出来た。

Aグループは、牧の戸より久住  
 山頂をめざし、4時間半で踏破す  
 ることが出来た。体力は、申し分  
 なく、指示に素早く反応し、始終  
 きれいなを隊列作ることが出来た。  
 久住の山なみも、色づきかけて、  
 より一層美しさがひきたてられた  
 ように思う。

11月も毎週、登山を計画してお  
 ります。興味のある方は、ご連絡  
 下さい。

### お礼

☆大津町特別養護老人ホーム・つ  
 つじ山荘様よりガラス温室をいた  
 だきました。  
 ☆熊本善意銀行様より、送迎用・  
 ワゴン車「VIP・Car」をい  
 ただきました。  
 ありがとうございました。

11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
	1	2	3 V○学習会 文化の日	4 3班レク いんちゃんの日(27)	5	6	
7	8	9	10	11 2班レク	12 ゆうこちゃん の誕生日(26)	13 シーツ交換 帰宅日 保護者会	
14 '93からいもフェスタ IN大津	15	16	17	18 誕生会	19	20	
21	22	23 勤労感謝の日	24	25 1班レク	26 たんぼぼ	27 シーツ交換 帰宅バス 運行開始	
28	29	30 きよしくんの 誕生日(25)	色しゅんちゃん、ゆうこちゃん、きよしくん誕生日おめでとう 9/3日(水)にV○学習会(久住山登山) 9/14日(日)からいもフェスタIN大津(HSR九州にて)				



ボランティア通信

秋も深まり、山々では紅葉が  
ちらちらと色をつけはじめ、ハ  
イキングや山登り等、体力をつけ  
るには絶好の季節となりましたが  
みなさんはどのような過ごし方を  
計画でしょうか。

去る9月26日(日)、三気の里  
運動会が行われました。日頃の行  
いがいいのか(?)絶好の秋晴れ  
の下、楽しい運動会を無事終える  
ことができました。これも沢山の  
ボランティアの方々のお陰だと感  
謝しています。ありがとうございました。  
満原

☆運動会

- 山中香織 島山重樹 平田由美
- 黒澤敏浩 伊石美鈴 青木奈緒美
- 中村衣里 外山俊彦 橋本いつ子
- 増田イツ子 今村かすみ 森隆子
- 栗屋美保 浅見十夏 庄司豪生
- 山中康寛 白石貴裕 橋本育弥
- 富田いずみ 久原慎太郎
- 淡河一之 仁田知恵美 長野法子
- 西山里美 堤耕一郎 池辺裕一
- ☆散髪 坂本シマ子 源造増美
- ☆清掃 園田美津子 遠山一恵
- ☆作業 高田一通

☆ゆうあいピック 大塚美恵子

お礼

☆運動会に白川保育園様、日野環  
境様、大塚鮮魚様、あゆみ園様、  
淡河様より飲み物の寄贈をしてい  
ただきました。ありがとうございました。

後援会入会

ありがとうございます

- 川下直彦 川口健吾 堤 純也
- 横山政行 本田浩二 財賀真理子
- 内田裕己 北原慎也 芹沢恵太
- 大石諒子 笹原江梨 牛嶋妃佐美
- 木下祐一 前田拓海 前田一真
- 梅田祥太 高森大輔 金子絵理香
- 淵上恒佑 道上裕佳 森 裕三
- 坂田 博 福田春幸 石崎富士一
- 澤田信也 徳永昭憲 五百路智美
- 山宮 翔 稲葉正二 宮村尚樹
- 野満知嗣 芹川知洋 吉尾兜史
- 松本 了 野田 剛 木山和哉
- 福岡雅子 原 和彦 佐々木黙雷
- 相良美貴子

十月二十九日付け

※敬称略